

令和 7 年度当初予算 の概要

企画・地域振興部

令和7年度当初予算総括表

〔一般会計〕

企画・地域振興部（単位：千円）

款 名	項 名	令和7年度 当初予算額 （A）	令和6年度 当初予算額 （B）	増 減 額 （A）－（B）	伸 率 （A）／（B）％	7 年 度 の 財 源 内 訳				備 考
						国 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2 款 総務費	1 項 総 務 管 理 費	20	20	0	100.0			30	△ 10	
	2 項 企 画 費	13,285,716	13,476,979	△ 191,263	98.6	452,396	2,292,400	2,630,431	7,910,489	
	4 項 市町村振興費	1,903,940	1,975,525	△ 71,585	96.4	3,250		1,985	1,898,705	
	5 項 選 挙 費	2,679,232	111,967	2,567,265	2,392.9	2,453,318		2	225,912	令和7年参議院議員選挙（2,451,109千円）による増
	7 項 統 計 調 査 費	3,995,806	810,761	3,185,045	492.8	3,926,547		369	68,890	令和7年国勢調査（3,355,614千円）による増
合 計		21,864,714	16,375,252	5,489,462	133.5	6,835,511	2,292,400	2,632,817	10,103,986	

〔特別会計〕

会 計 名	令和7年度 当初予算額 （A）	令和6年度 当初予算額 （B）	増 減 額 （A）－（B）	伸 率 （A）／（B）％	7 年 度 の 財 源 内 訳				備 考
					国 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
市 町 村 振 興 基 金	34,210	22,311	11,899	153.3			34,210		
合 計	34,210	22,311	11,899	153.3			34,210		

令和7年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
交通政策課	2	2	3	①交通空白解消 集中対策費	15,554	0	1 事業の目的 県内交通空白の解消を図るため、市町村間の広域調整や伴走支援により、国の補助金を活用した市町村交通空白解消の取組を促進するもの。 2 事業の概要 (1) 市町村間の広域運行に向けた段階的支援・調整 6,503 ①市町村が抱える課題を明確にするための調査、データベース化 1,320 [調査対象] 県内全市町村 [調査内容] 地域の輸送資源の洗出し、交通空白箇所や地域特性の把握、広域運行意向確認 ②広域調整のための協議の場の設置 1,667 [協議内容] コミュニティバスの広域化や公共ライドシェアの広域導入等に向けた調整 [設置回数] 25回(5エリア×各5回) ③有識者アドバイザーの派遣 2,418 [助言内容] ・広域運行に向けた進め方 ・自治体域内と域外のサービスバランス調整 ・自治体の費用負担の考え方 など [派遣回数] 40回(5エリア×各8回) ④課題解決に寄与する民間事業者とのマッチング支援 1,098 [支援内容] ・エリアの課題に応じた民間事業者の調整・斡旋 [支援対象] 5エリア (2) 個別で取り組む市町村への段階に応じた支援 9,051 ①市町村が抱える課題を明確にするための調査、データベース化 1,320 [調査対象] 県内全市町村 [調査内容] 地域の輸送資源の洗出し、交通空白箇所や地域特性の把握 ②公共ライドシェアやAIオンデマンド交通導入などに関する研修会の開催 709 [研修内容] 導入に向けた検討プロセス(費用対効果、住民ニーズに応じたサービス選択、先進事例紹介 など) [開催回数] 4回(福岡・北九州・筑豊・筑後) ③有識者アドバイザーの派遣 4,835 [助言内容] ・既存コミュニティバスの運行ルート最適化 ・新たな交通サービスの提案 ・公共ライドシェアの導入 など [派遣回数] 80回(10団体×8回) ④課題解決に寄与する民間事業者とのマッチング支援 2,187 [支援内容] ・市町村の課題に応じた民間事業者の調整・斡旋 [支援対象] 10市町村
							国は、令和7年度から9年度を「交通空白解消・集中対策期間」と定め、「交通空白」解消緊急対策事業を実施 <補助対象> 市町村、交通事業者、都道府県等の交通サービス運営主体 <補助率> 500万円まで定額、500万円超部分は2/3 等(上限1億) <対象事業> 「交通空白」解消に向け、公共ライドシェア、AIオンデマンド交通、乗合タクシーの導入や交通の広域化等に新たに取り組む事業 <対象経費> 実証運行に係る車両、システム導入・運行費等(導入等のための調査・計画策定費を含む)

令和 7 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
交通政策課	2	2	3	地域公共交通 運転手確保 対策費	48,698	17,229	1 事業の目的 2024年問題により一層深刻化した運転手不足の状況を改善するため、バス・タクシー運転手を確保する事業を集中的に実施することにより、日常生活の移動手段として必要不可欠な地域公共交通の維持・確保を図る。 2 事業の概要 (1) ⑧ 運転手採用に向けた施設整備・設備導入への支援 <u>33,000</u> [実施主体] 乗合バス・タクシー事業者 [対象経費] ① ア 職場環境整備に係る施設・設備の改修・導入等 (Wifi環境整備、更衣室・休憩室の整備等) イ 職場環境の情報発信に係る経費 (HP作成、自社パンフレット制作等) ② 外国人の就業・生活環境の改善のための取組に係る経費 (母国語のマニュアル作成、研修、寮の生活家電設置等) [補助率] 1/2 [補助上限額] ①500千円、②300千円 (2) ⑨ 運転体験会・合同会社説明会の開催 <u>15,299</u> 運転体験会・合同会社説明会を県内全域(1エリア(福岡)→4エリア(福岡・北九州・筑豊・筑後))で開催 (3) 福岡県地域公共交通運転手確保等実行委員会の開催 <u>399</u>

令和 7 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
空港事業課	2	2	3	北九州空港 貨物輸送 ネットワーク 構築費	647,804	594,839	1 事業の目的 北九州空港の貨物拠点化に向け、貨物輸送ネットワークの構築を図ることで、県内のみならず、九州・西中国地域の発展に繋げる。 2 事業の概要 ・(新) 空港周辺に進出する貨物利用運送事業者等に対して進出経費を一部助成 ・(新) 首都圏の販売会・商談会等で使用する生鮮貨物等を輸送する荷主企業に対して輸送経費を一部助成 ・(拡) 国際貨物便の運航に係る経費を一部助成 ・(拡) 国際貨物の輸送に係る経費を一部助成 ・(拡) 半導体貨物集貨促進のため貨物利用運送事業者及び荷主に対して輸送経費を一部助成 ・ 国内貨物の輸送に係る経費を一部助成
				北九州空港 旅客路線再生 事業費	170,372	187,965	1 事業の目的 航空会社に対し運航に必要な経費を助成することにより、運休・減便中の路線の復便や既存路線の増便、新規路線の就航を促し、北九州空港の旅客路線の再生を目指す。 2 事業の概要 ・(拡) 定期便及びチャーター便の運航に係る経費を一部助成 ・(新) 新規定期便就航に係る初期費用を一部助成 ・ 路線誘致活動他
				北九州空港 広域アクセス 向上事業費	55,312	53,121	1 事業の目的 深夜・早朝における北九州空港と福岡都市圏との移動手段を確保し、北九州空港の利用機会を確保する。 2 事業の概要 ・ 北九州空港と福岡都市圏を結ぶリムジンバスの運行を支援 ・(新) リムジンバス減便分を補完する乗合タクシーの運行を支援 ・(新) 空港利用者や福岡都市圏居住者等に向けた福北リムジンバスのPRを実施

令和7年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
国際政策課	2	2	7	⑨ FUKUOKA IS OPEN センター 機能強化費	19,694	0	1 事業の目的 「FUKUOKA IS OPENセンター」の機能拡充により在留外国人への相談体制を強化する。 2 事業の概要 (1) 相談実績のデータベース化等による相談体制の充実 <u>12,168</u> ・相談実績を基にした相談対応データベースを構築、活用 (2) 教育、住宅、医療分野との連携強化 <u>7,526</u> ・教育、住宅分野の相談現場への多言語サポーターの派遣 ・ふくおか国際医療サポートセンターの周知
				⑨ 海外福岡県人 会と連携した グローバル 人材育成 事業費			1 事業の目的 海外福岡県人会のネットワークを活かし、グローバルな視点を持った青少年を育成する。 2 事業の概要 (1) 海外県人会と連携した派遣事業の合同報告会を開催 <u>456</u> (2) 派遣事業参加者と海外県人会との交流を促すオンラインプラット <u>3,000</u> フォームを開設
				⑨ 国連ハビタッ トと連携した グローバル 人材育成費			1 事業の目的 国連機関やグローバル企業で必要とされる英語運用能力やマネジメント能力を身に着けた即戦力グローバル人材を育成する。 2 事業の概要 (1) 国連ハビタットと連携したグローバル人材育成プログラムを実施 <u>4,801</u> [時期] 令和7年10月～3月 [参加者] 福岡県の大学生及び大学院生10名 [内容] 事前研修、現地派遣、事後研修

令和7年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
国際交流課	2	2	7	⑨ アジア地域 連携促進費 (デリー準州 訪問団 受入事業)	15,060	0	1 事業の目的 インド・デリー準州首相を招聘し、友好提携の覚書更新に向けたトップ会談を行い、今後の両県準州の交流の更なる深化を図る。また、新たに開設された在福岡インド総領事館と連携し、インドとの交流促進を図る。 2 事業の概要 (1) デリー準州訪問団受入 <u>13,508</u> [時期] 未定 [来訪者] 30名程度(デリー準州首相、州政府関係者、フェア関係者等)を予定 [内容] トップ会談、歓迎レセプション、デリーフェア など (2) セミナー等イベントの開催 <u>1,552</u>
	総務費	企画推進費	国際政策推進費	⑨ バンコク都 との高校生 交流推進費	8,444	0	1 事業の目的 社会問題に関心のある福岡県とバンコク都の高校生を相互に派遣し、国際感覚やアントレプレナーシップを備えたグローバル人材を育成する。 2 事業の概要 (1) バンコク都との高校生交流プログラムを実施 <u>8,444</u> [時期] 令和7年11月～3月 [参加者] 福岡県、バンコク都の高校生 各15名 [内容] 事前研修、相互訪問(バンコク、福岡)
				⑨ ハノイ市と の日本語教 育分野にお ける交流推 進費	6,337	0	1 事業の目的 日本語教師を目指す福岡県の大学生と日本語を学習するハノイ市の高校生を相互に派遣し、日本語教師を育成するとともに、優秀な日本語人材を獲得する。 2 事業の概要 (1) ハノイ市との日本語教育分野における相互交流プログラムを実施 <u>6,337</u> [時期] 令和7年9月～3月 [参加者] 福岡県の大学生10名、ハノイ市の高校生10名 [内容] 事前研修、相互訪問(ハノイ、福岡)

令和 7 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
政策支援課	2	2	2	移住・定住 促進費	169,418	176,829	1 事業の目的 居住・就業・交流体験や各市町村の移住・定住プロモーション動画による情報発信など、「関係人口」の創出・拡大に取り組むことで、本県への移住促進を図る。 2 事業の概要 (1)「福岡くらしごと体験（居住・就業・交流体験）」の実施9,443 ・就業体験の場の掘り起こし ・拡親子で参加できるプログラムを開拓 ・地域と参加希望者とのマッチング ・宿泊新交通費の助成 (2)新移住・定住プロモーション動画の制作・発信9,234 ①市町村による個性的なPR動画を制作し、SNS（TikTok、Instagram）及びYoutubeで発信 ②県内大規模スポーツイベント等でPRブースを出展し、パンフレット等の配布及び①の動画を配信 (3)新県内企業に就職する学生の移転費の支援767 ・東京都内に本部を置く大学の大学生及び大学院生の就職に伴う転居に要する移転費を支援 (4)新地域おこし協力隊経験者と連携した市町村への支援1,006 ・退任後の隊員の定住率が低い市町村等を訪問し、助言・情報提供を実施 (5)新地域おこし協力隊員、隊員経験者と市町村職員の交流会開催947 ・隊員の活動への理解と支援を促進するため、隊員経験者等との交流会を開催 (6)新空き家の活用事例や県内空き家情報の発信1,961 ・空き家を活用した移住推進セミナーの実施 ・移住・定住ポータルサイトに空き家の活用に関する特設ページを開設
＜移住・定住促進事業の既存事業体系(継続)＞							
(1)全国に向けた情報発信（H26～）					12,273		
○ガイドブック、WEB、SNSを活用した情報発信							
・移住定住ポータルサイト							
・「ふくおかファンクラブ」の運営							
・移住ガイドブックの改訂							
○大規模相談会を契機とした移住・定住強化促進							
(2)移住希望者への相談対応（H27～）					41,923		
○移住相談窓口(東京、福岡)の運営							
(3)移住希望者への体験機会の提供（R4～）					3,835		
○テレワークを推進する企業と連携した移住促進							
(4)県内就業・移住の促進(R2～)					83,949		
○移住支援金の支給等							
(5)地域おこし協力隊員募集支援・相談対応(H28～)					4,080		
合 計					146,060		

令和 7 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課（室）名	科 目			主 要 施 策 事 項 名	予 算 額	前 年 度 予 算 額	事 業 の 概 要																								
	款	項	目																												
政 策 支 援 課	2	2	2	新 県 境 地 域 振 興 推 進 費	21,850	0	1 事業の目的 県内において、特に人口が減少しており、経済面でも低迷している県境地域について、隣県や関係市町と連携し、各部横断で事業を実施することにより、地域活性化につなげる。 2 事業の概要 (1) 県境地域での「福岡くらしごと体験（居住・就業・交流体験）」の実施 2,141 ・ 県境地域での就業体験の場の掘り起こし ・ 親子で参加できるプログラムの開拓 ・ 地域と参加希望者とのマッチング ・ 宿泊交通費の助成 (2) 首都圏や県内スポーツイベント等における移住・定住プロモーションの展開 10,509 ○移住・定住プロモーション動画を制作し、SNS（TikTok、Instagram）及びYoutubeで発信 ・ ショートドラマ形式及びロング動画 ○(株)ぐるなび「ミセメディア」を活用した首都圏飲食店でのプロモーション ○県内大規模スポーツイベント等での県境地域の情報発信 ・ プロモーション動画の配信 (3) eスポーツを活用した地域活性化事業の実施 9,200 ・ eスポーツを活用した地域活性化事業に対する補助 [補助対象] 市町 [補助率] 1/2（補助上限：500千円） ・ eスポーツ体験会を県境地域市町及び県庁ロビーで実施 ・ 地域の魅力を発信するeスポーツイベントを熊本県と共同開催																								
〈 県境地域振興関連施策（抜粋） 〉																															
<table><tr><td>県境の豊築・有明地域の振興</td><td>21,850千円</td></tr><tr><td colspan="2">県内で、特に人口が減少しており、経済面でも低迷している県境地域について、「福岡くらしごと体験（居住・就業・交流体験）」の実施や、首都圏及び県内スポーツイベント等で移住・定住プロモーションの展開、eスポーツを活用した地域活性化事業を実施</td></tr><tr><td>「交通空白」の解消に向けた市町村の取組支援</td><td>15,554千円</td></tr><tr><td colspan="2">「交通空白」の解消を図るため、市町村間の広域運行や新たな交通モードの導入に向け、市町村が抱える課題の調査、研修会の開催、アドバイザー派遣、民間業者とのマッチング支援を集中的に実施</td></tr><tr><td>地域公共交通の人材確保</td><td>48,698千円</td></tr><tr><td colspan="2">・地域公共交通を担うバス・タクシー運転手確保のため、採用に向けた設備導入や外国人材確保のための環境整備を支援 ・バス・タクシー運転手確保のため、運転体験会や合同会社説明会を開催</td></tr><tr><td>気軽に出会える「福岡ふらっとカフェ」を開催</td><td>10,477千円</td></tr><tr><td colspan="2">・趣味等をテーマとしたフリートーク交流会「福岡ふらっとカフェ」を開催 ・オンライン登録によりAIマッチングツール「ふく♡こいコミュニティ」の利便性を向上させ、登録者をカフェへ誘導</td></tr><tr><td>県産水産物の販売拡大</td><td>13,623千円</td></tr><tr><td colspan="2">豊築・有明地域の観光客に向け「ふくおかの地魚応援の店」でのフェアを開催</td></tr><tr><td>野生鳥獣の捕獲強化</td><td>22,750千円</td></tr><tr><td colspan="2">未活用の捕獲獣を県域で収集し、ペットフード原料として活用する体制の構築支援</td></tr></table>								県境の豊築・有明地域の振興	21,850千円	県内で、特に人口が減少しており、経済面でも低迷している県境地域について、「福岡くらしごと体験（居住・就業・交流体験）」の実施や、首都圏及び県内スポーツイベント等で移住・定住プロモーションの展開、eスポーツを活用した地域活性化事業を実施		「交通空白」の解消に向けた市町村の取組支援	15,554千円	「交通空白」の解消を図るため、市町村間の広域運行や新たな交通モードの導入に向け、市町村が抱える課題の調査、研修会の開催、アドバイザー派遣、民間業者とのマッチング支援を集中的に実施		地域公共交通の人材確保	48,698千円	・地域公共交通を担うバス・タクシー運転手確保のため、採用に向けた設備導入や外国人材確保のための環境整備を支援 ・バス・タクシー運転手確保のため、運転体験会や合同会社説明会を開催		気軽に出会える「福岡ふらっとカフェ」を開催	10,477千円	・趣味等をテーマとしたフリートーク交流会「福岡ふらっとカフェ」を開催 ・オンライン登録によりAIマッチングツール「ふく♡こいコミュニティ」の利便性を向上させ、登録者をカフェへ誘導		県産水産物の販売拡大	13,623千円	豊築・有明地域の観光客に向け「ふくおかの地魚応援の店」でのフェアを開催		野生鳥獣の捕獲強化	22,750千円	未活用の捕獲獣を県域で収集し、ペットフード原料として活用する体制の構築支援	
県境の豊築・有明地域の振興	21,850千円																														
県内で、特に人口が減少しており、経済面でも低迷している県境地域について、「福岡くらしごと体験（居住・就業・交流体験）」の実施や、首都圏及び県内スポーツイベント等で移住・定住プロモーションの展開、eスポーツを活用した地域活性化事業を実施																															
「交通空白」の解消に向けた市町村の取組支援	15,554千円																														
「交通空白」の解消を図るため、市町村間の広域運行や新たな交通モードの導入に向け、市町村が抱える課題の調査、研修会の開催、アドバイザー派遣、民間業者とのマッチング支援を集中的に実施																															
地域公共交通の人材確保	48,698千円																														
・地域公共交通を担うバス・タクシー運転手確保のため、採用に向けた設備導入や外国人材確保のための環境整備を支援 ・バス・タクシー運転手確保のため、運転体験会や合同会社説明会を開催																															
気軽に出会える「福岡ふらっとカフェ」を開催	10,477千円																														
・趣味等をテーマとしたフリートーク交流会「福岡ふらっとカフェ」を開催 ・オンライン登録によりAIマッチングツール「ふく♡こいコミュニティ」の利便性を向上させ、登録者をカフェへ誘導																															
県産水産物の販売拡大	13,623千円																														
豊築・有明地域の観光客に向け「ふくおかの地魚応援の店」でのフェアを開催																															
野生鳥獣の捕獲強化	22,750千円																														
未活用の捕獲獣を県域で収集し、ペットフード原料として活用する体制の構築支援																															

令和7年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
総合政策課	2	2	2	① ペロブスカイト 太陽電池 普及推進費	115,000	0	1 事業の目的 次世代型太陽電池の一つである「ペロブスカイト太陽電池」について、県有施設への率先導入及び民間事業者における導入実証への支援を行うことにより、県内での普及拡大を図る。 2 事業の概要 (1) 県有施設（指定避難所）への率先導入 <u>95,000</u> 避難所に指定されている県立学校等の体育館の屋根にペロブスカイト太陽電池及び蓄電池を設置 (2) 普及拡大に向けた実証支援 <u>20,000</u> 民間事業者による将来の拡張性が高い設置場所での実証を支援 〔補助率〕 1/2 〔補助上限額〕 5,000千円
情報政策課	2	2	6	① フルデジタル 県庁推進費 (県庁DX推進 人材の育成)	8,140	4,634	1 事業の目的 デジタル技術を活用した新たな仕事の進め方（デジタル・ワークスタイル）や施策立案、課題解決ができる人材の確保・育成を計画的に行い、県のDX推進体制を確立する。 2 事業の概要 (1) DX推進人材育成研修の内容の拡充 <u>4,620</u> ・DX推進人材育成のための研修コンテンツ対象を拡充 〔対象〕 ・DXチーフエキスパート(40名) データサイエンティストやソフトウェアエンジニアなどの知識を習得 ・DXエキスパート(100名) DX概論、生成AI、RPAなどの知識を習得 (2) 職員研修所への無線LAN整備 <u>3,520</u> ・職員研修所において、デジタルツールを活用した研修を実施するための無線LAN環境を整備